

被服衛生学セミナー開催記録

回	総合テーマ	会 場	開催日
1.	衣服気候について	富士教育研究所・裾野	1982. 4. 2~3
2.	ヒトの体温生理および被服の温熱特性	神戸ポートピア・神戸	1983. 4. 2~3
3.	clo値を考える	箱根静雲荘・箱根	1984. 3. 30~31
4.	衣服気候を考える	神奈川県立婦人総合センター・藤沢	1985. 3. 27~28
5.	衣服圧を考える	大阪市立労働会館・大阪	1986. 11. 6~7
6.	発汗の生理と被服汚染	王山会館・名古屋	1987. 11. 6~7
7.	皮膚感覚と衣服	福島グリーンパレス・福島	1988. 10. 13~14
8.	衣服内の熱・水分移動を考える	横浜郵便貯金会館・横浜	1989. 9. 25~26
9.	寝床内気候と寝具	広島ガーデンパレス・広島	1990. 9. 20~21
10.	高齢者の生活行動と衣服	京都バストラル・京都	1991. 9. 26~27
11.	北方圏における衣服と温熱環境	藤学園セミナーハウス・札幌	1992. 8. 30~9. 1
12.	生体生理現象の測定とその被服衛生学への応用	文化学園軽井沢山荘・長野	1993. 9. 12~14
13.	高齢化社会における被服衛生学の役割	ラフォーレ修善寺・修善寺	1994. 8. 29~31
14.	アジアの高温多湿地域における被服衛生学の問題	ラフォーレ修善寺・修善寺	1995. 8. 25
15.	生体機能と衣服	尚綱女学院短期大学・名取	1996. 8. 21~23
16.	電磁波と衣生活	こまばエミナース・東京	1997. 8. 27~28
17.	21世紀における被服衛生学への期待	倉敷ファッションセンター・倉敷	1998. 8. 24~26
18.	いま、被服研究に求められているもの・・・心地良さの心理・生理	京都テルサ・京都	1999. 8. 25~27
19.	被服衛生学 - 明日への視点 - 高齢者問題を学際的に考える	ホテルメトロポリタン秋田・秋田	2000. 8. 7~9
20.	被服衛生学セミナー創立20周年記念	東レ総合研修センター・三島	2001. 8. 29
21.	人間にとって被服とは何か - ファッションと健康の両面からのアプローチ -	長野市勤労者女性会館しなのき及びサンパルテ山王・長野	2002. 8. 25~27
22.	アレルギーのはなし	実践女子大学・日野	2003. 8. 25
23.	ストレスと今求められている衣服	九州大学国際交流プラザ・福岡	2004. 8. 23~24
24.	健康を支える衣服力	神戸ファッション美術館・神戸	2005. 8. 8~9
25.	着ごごち・寝ごごち・履きごごち	エル・パーク仙台・仙台	2006. 8. 7~8
26.	被服衛生学のこれから - 戦略と戦術 -	和洋女子大学佐倉セミナーハウス・千葉	2007. 8. 7~8
27.	被服衛生とナチュラルファイバー	トヨタテクノミュージアム・名古屋	2008. 8. 8~9